

けんこうガイド | 4・5月

健康推進課(保健センター内) 〒362-0074 春日2-10-33 ☎774-1411 ☎776-7355

☎=内 容
☎=対 象
☎=定 員
☎=持 ち 物
☎=費 用
☎=申 込 込

母子保健	とき・ところ	内容・対象・持ち物	備 考
フッ素塗布	4月6日(水) 保健センター	☎歯科健診(1歳6か月児健康診査など)を受診した就学前の人(6カ月間隔で塗布できます) ☎母子健康手帳、タオル、歯ブラシ	☎1365円 ☎当日、直接会場へ ※平成23年4月から対象年齢が拡大されました。
	午後1時15分～2時		
10か月児健康相談	4月18日(月) 保健センター	☎平成22年6月の出生児 ☎母子健康手帳、おむつ、バスタオル	☎当日、直接会場へ ※発熱時や感染性疾患の疑いのある人はご遠慮ください。
	午前9時～10時		
両親学級 1日コース	5月21日(土) 保健センター	☎平日の妊婦教室に参加できない平成23年7～12月に産予定の妊婦とそのパートナー ☎妊娠中の栄養、生活、出産準備のダイジェスト講義、もく浴	☎20組(先着順) ☎4月21日(木)から電話で健康推進課へ
	午前9時～午後3時		
乳幼児健康相談	4月14日(木) 保健センター	☎身長・体重の計測、発達・育児・食事・歯の相談 ☎就学前の乳幼児 ☎母子健康手帳、おむつ、バスタオル	☎当日、直接会場へ ※発熱時や感染性疾患の疑いのある人はご遠慮ください。保護者の健康相談も行います。
	午前9時30分～10時30分		
4か月児健康診査 1歳6か月児健康診査 3歳児健康診査	対象者には個別通知。通知のない場合は、お問い合わせください。 ※日程など詳しくは、『予防健診一覧 23年4月～7月』または市ホームページをご覧ください。		

成人保健	とき・ところ	内容・対象・持ち物	備 考
総合健康相談	5月10日(火) 市役所ロビー	☎保健師・栄養士による健康相談 ☎健康面で心配がある人 ☎健康手帳(持っている人)	☎当日、直接会場へ
	午前9時30分～10時30分		
臨床心理士による こころの悩み相談	4月26日(火) 保健センター	☎臨床心理士・保健師による面接相談 ☎何となく元気がない、眠れない、つい酒に頼ってしまう、うつかな?などの心の悩みを抱えている人	☎4組 ☎電話で健康推進課へ(予約制) ※申込時に相談内容を確認します。
	5月12日(木)		
うつつの 家族サロン	5月12日(木) 保健センター	☎共通の悩みを持つ家族の話し合い ☎うつ患者の家族	☎当日、直接会場へ
	午後1時30分～2時30分		
統合失調症患者の 家族サロン	4月21日(木) 保健センター	☎共通の悩みを持つ家族の話し合い ☎統合失調症患者の家族	☎当日、直接会場へ
	午後1時30分～3時		
ソーシャルクラブ	毎週木曜日 保健センター	☎精神障害者の社会復帰支援のためのグループ活動(話し合い、スポーツ、調理実習など) ☎心の病(統合失調症など)の回復期で在宅療養中の人	☎15人 ☎電話で健康推進課へ(登録制)
	午前9時45分～正午 ※プログラムの内容により、時間や場所が変わります。		
【個別検診】7月から実施。女性健康診査、骨粗しょう症検診、前立腺がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、肝炎ウイルス(B・C型)検診			
【集団検診】胃がん検診。 ※申し込み方法など詳しくは、『予防健診一覧 23年4月～7月』または市ホームページをご覧ください。			

平日夜間・休日診療

【平日夜間診療】

小児科・内科

「平日夜間・休日急患診療所」(緑丘2-2-27 上尾医療センター内、☎774-2661・☎772-1353)で行っています。

▷診療日 月～金曜日(祝日を除く)

▷診療時間 午後8時～10時(受け付けは午後8時～9時30分)

【休日診療】

内科・小児科・外科

「平日夜間・休日急患診療所」(上記参照)で行っています。

▷診療日 日曜日・祝日・年末年始

▷診療時間 午前9時～正午、午後1時～4時(受け付けは午前11時30分まで、午後は3時30分まで)

産婦人科

「北足立産科医師会休日診療所」(鴻巣市赤見台1-15-23、☎048-596-0275)で行っています。

▷診療時間 午前9時30分～午後0時30分

【休日】

産婦人科

5月	当番医
1日	木下産婦人科クリニック ☎787-5533・☎787-3801
3日	上尾中央総合病院 ☎773-1111・☎773-7122
4日	ひらしま産婦人科 ☎722-1103・☎722-1146
5日	ナラヤマレディースクリニック ☎771-3659・☎771-3922
8日	木下産婦人科クリニック ☎787-5533・☎787-3801
15日	上尾中央総合病院 ☎773-1111・☎773-7122
22日	ひらしま産婦人科 ☎722-1103・☎722-1146
29日	ナラヤマレディースクリニック ☎771-3659・☎771-3922

▷診療時間 午前9時～正午、午後1時～4時

◆広報掲載の後、当番医の変更が生じる場合もあります。各新聞の埼玉版休日医欄も参考の上、お出掛けください。

●こんな時には、埼玉県救急医療情報センターの県民案内サービスのご利用を!

①救急車を呼ぶほどではないが、緊急に受診が必要なとき

②休日・祝日、夜間などのとき

③どこで診てもらえばよいか分からないとき

診療が可能な医療機関をご案内します。

▷電話番号 824-4199(24時間対応)

●子どもの急な病気に困ったら小児救急電話相談に相談を!

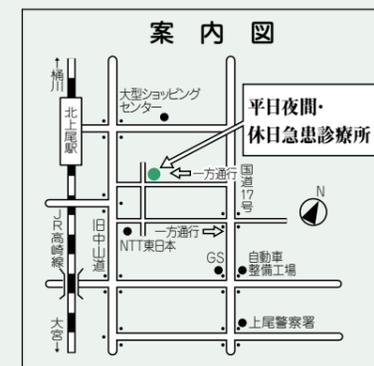
子どもの急病時(発熱、下痢、嘔吐など)の家庭での対処法や受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じます。

▷相談日時 月～土曜日/午後7時～11時

日曜日・祝日・年末年始/午前9時～午後11時

▷電話番号 #8000(NTTプッシュ回線)

833-7911(ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話)



今月の健康

359

加齢黄斑変性症

加齢黄斑変性症は、人や物を見分けるのに戸惑ったり、文字が読みにくかったりなどが特徴の目の病気です。眼底の網膜の中央にある黄斑部が傷害されるもので、網膜はフィルムに例えられますが、場所によって見え方が異なり、一番良く見えるのが眼底の中央にある黄斑部です。年を取って黄斑部の障害が起き、ゆがみ・視力低下を生じるのが加齢黄斑変性症で最近増加しています。

物がゆがんで見えたり、視野の真ん中が黒ずんで見えたりしたら、この病気が疑われます。片目だけの症状だったり、わずかな障害では、なかなか気付かないことが多いのです。片方の目を隠して、片目ずつチェックすることが有効です。

加齢黄斑変性症は、年を取れば誰でもかかる恐れのある病気です。日本では視覚障害者の原因疾患の第4位で、主な原因は加齢や生活習慣の欧米化などです。欧米では以前から主要な失明原因となる怖い病気として知られていましたが、日本でも高齢者の増加に伴って患者の数が増えています。

少しでも気になる症状があれば、眼科専門医の精密検査を受けましょう。検眼鏡などの器具を用いて直接眼底を観察したり、写真を撮って網膜の状態を調べたりします。

最近では、抗血管新生療法、光線力学療法、レーザー光凝固術などいろいろな治療法が開発されています。また、症状発生の予防のためにサプリメント(栄養補助食品)を服用する場合があります。早期発見、早期治療により、治療成績も効果を上げてきています。少しでも自覚症状があるようなら眼科専門医に相談しましょう。

(上尾市医師会)

【おわびと訂正】『広報あけお』3月号と一緒に配布した『予防健診一覧23年4月～7月』中、乳幼児健康相談の7月1日(金)乳幼児相談センター受付時間に誤りがありました。おわびして訂正します。 誤=午前2:00～2:30 正=午後2:00～2:30